

9. 防災について（地震・災害）

突然襲ってくる地震。昔からわが国は地震による多くの被害を受けてきました。阪神淡路大震災や新潟県中越地震、東日本大震災などは記憶に新しいところですが、それ以外にも震度4以上の地震が毎年30回程度発生していると言われています。

地震そのものは防止できませんが、備えがあれば被害を最小限に食い止めることができます。その時になって慌てないように、日ごろから十分な備えをしておきましょう。

地震発生！そのときの行動！

1. 身の安全を確保

揺れを感じたら、とっさに机やテーブルの下に身を隠す。家具類やガラス戸から離れるとともに、座布団などで頭を保護する。

2. 脱出口を確保

地震の揺れにより建物がゆがみ、出入口が開かなくなることがあるので、ドアや窓などを開けておく。

①普段から通路や階段等に荷物を放置しないこと！

②慌てて外に飛び出さないこと！思わぬ落下物により大怪我をすることも！！

※大学校舎内にいる時は、教職員の指示に従うこと！

3. 慌てず冷静に火の始末

自分の家から火事を出さないよう使用中のガスコンロ、ストーブなどはすばやく火を消す。ただし、大きく揺れている間に無理をして火を消そうとすると、やけどをすることもあるので、身の安全を確保してから火を消すこと。

①建築物の倒壊や地盤の崩壊などの危険性がなければ、出火防止や初期消火につとめること。

②出火を発見したら、大声で他の人に知らせるとともに、協力し合って初期消火を行う。

※大学校舎内で発見した場合は、火災報知器のボタンを押すとともに、最寄りの研究室や事務室へ通報する。

4. 状況に応じて避難

火災の拡大、建築物の倒壊、地盤の崩壊などの危険が迫った時には避難する。

①狭い路地や塀ぎわは、瓦などが落ちてきたり、ブロック塀が倒れてきたりする恐れがあります。

②崖や川べりは地盤のゆるみで崩れやすくなっている恐れがあります。

③海岸にいる場合は、津波に注意して下さい。

5. 正しい情報を集める

ラジオやテレビの報道に注意してうわさやデマに惑わされないように。また市区町村役場、消防署、警察署などからの情報にも絶えず注意すること。

不要・不急な電話はかけないようにする。特に消防署等に対する災害状況の問い合わせ等は、消防活動等に支障をきたすので絶対にしないこと。

どんな時に、どこに避難すればよいか

もしもの時に備え、避難場所の確認や複数の避難方法を検討しておくこと。

一時避難場所	地震に伴う火災などが近隣に発生した場合は、自治会などで決めている一時避難所(空地、小公園、学校等)に避難し、いったん様子を見る。
広域避難場所	地震時に同時に多くの火災が発生し、燃え広がった場合、火炎やふく射熱から身を守るため、市や自主防災組織などの指示に従い、市の指定する広域避難所に避難する。
避難所	地震などで家が倒壊、消失した場合は、市や自主防災組織などの指示に従い、市立小・中学校に開設される避難所に避難する。

N T T 災害用伝言ダイヤル (171)

災害時に一般の電話がつながりにくくなった場合、N T T 災害用伝言ダイヤルが稼働します。「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行って下さい。家族や友人の安否確認などに活用できます。事前契約は不要です。

家庭で準備しておく非常用品一覧表

下表を参考に必要最小限の非常用品としてリュックサックなどに入れておきましょう。

食料	米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、飲料水(1人1日3Lが目安)など
照明・情報	懐中電灯、ラジオ、乾電池(予備として)
応急医療品	家庭常備薬(鎮痛剤、消毒薬など)、包帯、ガーゼ、脱脂綿、三角巾、はさみ、刺抜き、ピンセット など
加熱器具	卓上コンロ、ガスボンベ(予備として)、固形燃料
日用品	マッチ、ライター、新聞紙、ロープ、ひも、粘着テープ、ペンチ、スコップ、ビニール袋、ティッシュペーパー、筆記用具、生理用品 など
衣類	下着、靴下、防寒具、レインコート、軍手などの手袋、ハンカチ、タオル、毛布、タオルケット、シーツ、帽子 など
貴重品	現金(硬貨も)、印鑑、預金通帳、証書類、各種カード など

拠点救護所

名称	設置場所
相模原メディカルセンター	中央区富士見6-1-1
相模原南メディカルセンター	南区相模大野4-4-1

お問い合わせ 相模原市 防災対策課 電話 042-769-8208

Eメール bousaitaisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

災害時の安否確認について

皆さんに配布済の「災害対策カード」は常に携帯し、非常時は安否を大学まで連絡すること。

- ①震度5以上の地震などの災害発生後、セコム災害監視センターから安否確認メールやスマホ専用アプリ（安否報告アプリ）へ、みなさんの安否状況を報告するよう通知が届きます。
- ②各自で、自身の安否状況をウェブサイト、スマホ専用アプリ、メール返信などを利用して報告してください。

※初期登録マニュアル【自主報告機能あり】

利用者は、初期登録が必要です。登録後は、専用サイトから初期パスワード等の変更ができます。ここで登録したメールアドレスは災害発生時に管理者からの安否を確認するメールを受信します。

スマートフォンで初期登録

1. インターネットを利用して <https://www.e-kakushin.com/login/> に接続し「ログインページ」ボタンを押します。企業コード・ユーザーID・初期パスワードを入力し、「ログインする」ボタンを押します。

企業コード
0334446161

ユーザーID
mb(mfまたはdf)+学籍番号5ケタ

パスワード
0334446161

ログインする

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

言語選択
日本語 English

画面表示
モバイル版を表示 PC版を表示

表示モードをPC版に変更できる

▼QRコードをご利用の場合はこちら

2. 「アカウント管理」から「パスワード変更」を選択します。初期パスワード（現在のパスワード）から任意のパスワードへ変更できます。